



一時的な状態

この章では、よく発生する Cisco ONS 15454 SDH の一時的な状態についてそれぞれ説明し、エンティティ、SNMP 番号、およびトラップを示します。

3.1 一時的な状態のアルファベット順インデックス

表 3-1 に、ONS 15454 SDH の一時的な状態とそれらのエンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップをアルファベット順に示します。



(注)

CTC のデフォルトアラームプロファイルには、現在は実装されていないが今後の使用のために予約されているアラームおよび状態が含まれていることがあります。

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス

一時的な状態	エンティティ	SNMP 番号	SNMP トラップ
3.3.1 ADMIN-DISABLE (p.3-5)	NE	5270	disableInactiveUser
3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR (p.3-5)	NE	5280	disableInactiveClear
3.3.3 ADMIN-LOCKOUT (p.3-5)	NE	5040	adminLockoutOfUser
3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR (p.3-5)	NE	5050	adminLockoutClear
3.3.5 ADMIN-LOGOUT (p.3-5)	NE	5020	adminLogoutOfUser
3.3.6 ADMIN-SUSPEND (p.3-5)	NE	5340	suspendUser
3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR (p.3-6)	NE	5350	suspendUserClear
3.3.8 AUD-ARCHIVE-FAIL (p.3-6)	EQPT	6350	archiveOfAuditLogFailed
3.3.9 DBBACKUP-FAIL (p.3-6)	EQPT	3724	databaseBackupFailed
3.3.10 DBRESTORE-FAIL (p.3-6)	EQPT	3726	databaseRestoreFailed
3.3.11 FIREWALL-DIS (p.3-6)	NE	5230	firewallHasBeenDisabled
3.3.12 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-6)	OCN	5560	forcedSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.13 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-7)	OCN	5550	forcedSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch
3.3.14 INTRUSION (p.3-7)	NE	5250	securityIntrusionDetUser
3.3.15 INTRUSION-PSWD (p.3-7)	NE	5240	securityIntrusionDetPwd
3.3.16 IOSCFG-COPY-FAIL (p.3-7)	—	3660	iosConfigCopyFailed
3.3.17 LOGIN-FAILURE-LOCKOUT (p.3-7)	NE	5080	securityInvalidLoginLockedOutSeeAuditLog
3.3.18 LOGIN-FAILURE-ONALRDY (p.3-7)	NE	5090	securityInvalidLoginAlreadyLoggedOnSeeAuditLog
3.3.19 LOGIN-FAILURE-PSWD (p.3-7)	NE	5070	securityInvalidLoginPasswordSeeAuditLog
3.3.20 LOGIN-FAILURE-USERID (p.3-8)	NE	3722	securityInvalidLoginUsernameSeeAuditLog
3.3.21 LOGOUT-IDLE-USER (p.3-8)	—	5110	automaticLogoutOfIdleUser
3.3.22 MANWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-8)	OCN	5540	manualSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.23 MANWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-8)	OCN	5530	manualSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch
3.3.24 MSSP-RESYNC (p.3-8)	STMN	4340	msspMultiNodeTableUpdateCompleted

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス (続き)

3.3.25	PM-TCA (p.3-8)	—	2120	performanceMonitorThresholdCrossingAlert
3.3.26	PS (p.3-8)	EQPT	2130	protectionSwitch
3.3.27	PSWD-CHG-REQUIRED (p.3-9)	NE	6280	userPasswordChangeRequired
3.3.28	RMON-ALARM (p.3-9)	—	2720	rmonThresholdCrossingAlarm
3.3.29	RMON-RESET (p.3-9)	—	2710	rmonHistoriesAndAlarmsResetReboot
3.3.30	SESSION-TIME-LIMIT (p.3-9)	NE	6270	sessionTimeLimitExpired
3.3.31	SFTWDOWN-FAIL (p.3-9)	EQPT	3480	softwareDownloadFailed
3.3.32	USER-LOCKOUT (p.3-9)	NE	5030	userLockedOut
3.3.33	USER-LOGIN (p.3-9)	NE	5100	loginOfUser
3.3.34	USER-LOGOUT (p.3-10)	NE	5120	logoutOfUser
3.3.35	WKSWBK (p.3-10)	EQPT、OCN	2640	switchedBackToWorking
3.3.36	WKSWPR (p.3-10)	2R、TRUNK、EQPT、ESCON、FC、GE、ISC、OCN、STSMON、VT-MON	2650	switchedToProtection
3.3.37	WRMRESTART (p.3-10)	NE	2660	warmRestart
3.3.38	WTR-SPAN (p.3-10)	—	3420	spanIsInWaitToRestoreState

3.2 トラブル通知

ONS 15454 SDH では、Telcordia GR-253 の規則に従った状態の標準特性および GUI（グラフィカル ユーザーインターフェイス）の状態インジケータを使用して問題が報告されます。

ONS 15454 SDH では、Telcordia の標準カテゴリを使用して問題を各レベルに分類しています。システムは CTC Alarms ウィンドウで、アラームとして問題を通知し、状態としてステータスまたは記述的通知（設定されている場合）を行います。アラームは通常、Loss of Signal (LOS; 信号損失) など、修復する必要がある問題を示します。状態の場合は、トラブルシューティングが必要であるとは限りません。

3.2.1 状態の特性

状態には、ONS 15454 SDH シェルフで検出されたすべての問題が含まれます。未解決な状態や一時的な状態もあります。ネットワーク、ノード、またはカード上で現在生成されているすべての状態のスナップショットは、CTC Conditions ウィンドウか、または TL1 の一連の RTRV-COND コマンドを使用して表示できます。



(注) 解除された状態は、History タブで確認できるものもあります。

状態の一覧は、『Cisco ONS 15454 TL1 Command Guide』を参照してください。

3.2.2 状態のステータス

History タブのステータス (ST) カラムには、状態のステータスが次のように表示されます。

- raised (R; 生成) は、アクティブなイベントです。
- cleared (C; 解除) は、アクティブではなくなったイベントです。
- transient (T; 一時的) は、ユーザのログイン、ログアウト、ノード ビューへの接続の消失など、システムの変更中に CTC で自動的に生成されて解除されたイベントです。一時的なイベントに対しては、ユーザの対処は必要ありません。

3.3 一時的な状態

ここでは、ソフトウェア リリース 7.0 で検出されるすべての一時的な状態をアルファベット順に示します。それぞれの状態の説明、エンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップも示します。

3.3.1 ADMIN-DISABLE

非アクティブ ユーザのディセーブル化 (ADMIN-DISABLE) 状態は、指定された期間にわたって非アクティブであったユーザまたはアカウントを管理者がディセーブルにしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR

非アクティブ ディセーブル化の解除 (ADMIN-DISABLE-CLR) 状態は、管理者がユーザ アカウントのディセーブル化フラグを解除したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.3 ADMIN-LOCKOUT

管理者によるユーザのロックアウト (ADMIN-LOCKOUT) 状態は、管理者がユーザ アカウントをロックしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR

管理者によるロックアウトの解除 (ADMIN-LOCKOUT-CLR) 状態は、管理者がユーザ アカウントをロック解除したか、ロックアウト時間が経過したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.5 ADMIN-LOGOUT

管理者によるユーザのログアウト (ADMIN-LOGOUT) 状態は、管理者がユーザ セッションをログオフしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.6 ADMIN-SUSPEND

ユーザの一時停止 (ADMIN-SUSPEND) 状態は、ユーザ アカウントのパスワードが期限切れになったときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR

ユーザの一時停止の解除 (ADMIN-SUSPEND-CLR) 状態は、ユーザまたは管理者がパスワードを変更したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.8 AUD-ARCHIVE-FAIL

監査ログのアーカイブの失敗 (AUD-ARCHIVE-FAIL) 状態は、ソフトウェアが監査ログをアーカイブできないときに発生します。この状態は、一般に、参照した FTP サーバが存在しない場合、またはアーカイブ試行時に無効なログインを使用した場合に発生します。正しいユーザ名、パスワード、FTP サーバ詳細で再度ログインする必要があります。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.9 DBBACKUP-FAIL

データベース バックアップ失敗 (DBBACKUP-FAIL) 状態は、バックアップ コマンドが開始されたときに、システムがデータベースのバックアップに失敗したときに発生します。

ネットワークまたはサーバの問題のためにサーバがバックアップ操作を処理できない可能性があります。同じ操作を繰り返して、成功するかどうか確認してください。バックアップが失敗した場合は、ネットワークに問題があるか、ソフトウェアのプログラム エラーが原因かもしれません。弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxv) を参照してください。

3.3.10 DBRESTORE-FAIL

データベース復元失敗 (DBRESTORE-FAIL) 状態は、復元コマンドが開始されたときに、システムがバックアップされたデータベースを復元できなかったときに発生します。

この状態は、サーバの問題、ネットワークの問題、または人的エラー (存在しないファイルを指定した、ファイル名が正しくないなど) が原因です。正しいファイルを指定してデータベース復元を再試行すると、通常は成功します。ネットワークの問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。この状態がネットワーク要素 (NE) の障害が原因で発生した場合は、弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxv) を参照してください。

3.3.11 FIREWALL-DIS

ファイアウォールディセーブル化 (FIREWALL-DIS) 状態は、ファイアウォールを Disabled にプロビジョニングしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.12 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW

現用への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし (FRCDWKSWBK-NO-TRFSW) 状態は、現用ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、現用ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Force Switch (Ring または Span) が未処理状態となる場合があります。

3.3.13 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW

保護への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし (FRCDWKSWPR-NO-TRFSW) 状態は、保護ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、保護ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.14 INTRUSION

無効なログイン ユーザ名 (INTRUSION) 状態は、無効なユーザ ID でログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.15 INTRUSION-PSWD

セキュリティ侵入試行の検出 (INTRUSION-PSWD) 状態は、無効なパスワードでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.16 IOSCFG-COPY-FAIL

IOS 設定コピー失敗 (IOSCFG-COPY-FAIL) 状態は、ML シリーズイーサネットカードで、ソフトウェアが ML シリーズカードに設定ファイルをアップロードできなかったとき、または ML シリーズカードから設定ファイルをダウンロードできなかったときに発生します。[「SFTWDOWN-FAIL」状態 \(p.3-9\)](#) と類似していますが、IOSCFG-COPY-FAIL 状態は、TCC2/TCC2P カードではなく、ML シリーズイーサネットカードに適用されます。

3.3.17 LOGIN-FAILURE-LOCKOUT

無効なログイン、ロックアウト (LOGIN-FAILURE-LOCKOUT) 状態は、ロックされたアカウントにログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.18 LOGIN-FAILURE-ONALRDY

セキュリティ：無効なログイン、すでにログオン (LOGIN-FAILURE-ONALRDY) 状態は、既存のセッションおよび Single-User-Per-Node (SUPN) ポリシーでノードにログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.19 LOGIN-FAILURE-PSWD

無効なログイン、パスワード (LOGIN-FAILURE-PSWD) 状態は、無効なパスワードでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.20 LOGIN-FAILURE-USERID

無効なログイン、ユーザ名 (LOGIN-FAILURE-USERID) 状態は、ログインユーザ名がノードデータベースに存在しないために、ユーザ ログイン (CTC、CTM、または TL1) が失敗したときに発生します。既存のユーザ ID を使用してログインを再試行してください。

この一時的な状態は、セキュリティ警告と同等です。セキュリティ関連の他のアクションが発生していないか、セキュリティ ログ (監査ログ) を確認する必要があります。

3.3.21 LOGOUT-IDLE-USER

アイドルユーザの自動ログアウト (LOGOUT-IDLE-USER) 状態は、ユーザセッションが長時間アイドル状態だったために (アイドルタイムアウトが経過)、結果としてセッションが終了したときに発生します。ログインし直して、セッションを再開する必要があります。

3.3.22 MANWKSWBK-NO-TRFSW

現用への手動再切り替えによるトラフィック切り替えなし (MANWKSWBK-NO-TRFSW) 状態は、現用ポート / カードへの手動切り替えを実行したときに、現用ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.23 MANWKSWPR-NO-TRFSW

保護への手動切り替えによるトラフィック切り替えなし (MANWKSWPR-NO-TRFSW) 状態は、保護ポート / カードへの手動切り替えを実行したときに、保護ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Manual Switch (Span または Ring) が未処理状態となることがあります。

3.3.24 MSSP-RESYNC

MS-SPRing マルチ ノード テーブル アップデート完了 (MSSP-RESYNC) 状態は、ノードがリング内の他のノードからペイロード、パス ステート、Routing Information Protocol (RIP)、クロスコネク ト テーブル、クロスコネク ト VT テーブルなど、すべての関連情報を受信したときに発生します。この状態は、ノードが追加されたり回線がプロビジョニングされるときに、リング内のすべてのノードで生成されます。この一時的な状態は解除されず、CTC の History タブに表示されます。

すべてのノードでこの状態を確認したあと、Forced Switched Ring コマンドを削除する必要があります。

3.3.25 PM-TCA

パフォーマンス モニタ スレッシュホールド超過アラート (PM-TCA) 状態は、ネットワーク コリジョンが上限スレッシュホールドを初めて超えたときに発生します。

3.3.26 PS

保護切り替え (PS) 状態は、トラフィックが現用 / アクティブ カードから保護 / スタンバイ カードに切り替えられたときに発生します。

3.3.27 PSWD-CHG-REQUIRED

ユーザパスワード要変更 (PSWD-CHG-REQUIRED) 状態は、ユーザがログインパスワードを変更しなかったために telnet や FTP などのシェル関数へのログインを拒否されたときに発生します。パスワードは、CTC または TL1 から変更できます。

3.3.28 RMON-ALARM

RMON スレッシュホールド超過アラーム (RMON-ALARM) 状態は、リモート モニタリング変数がスレッシュホールドを超過したときに発生します。

3.3.29 RMON-RESET

RMON 履歴およびアラーム リセット リポート (RMON-RESET) 状態は、TCC2/TCC2P カードの時刻設定が 5 秒を超えて進んだか遅れたときに発生します。これによってすべての履歴データが無効になり、Remote Monitoring (RMON) を再起動する必要があります。カードをリセットしたときにも発生します。

3.3.30 SESSION-TIME-LIMIT

セッション時間制限経過 (SESSION-TIME-LIMIT) 状態は、ログインセッションが時間制限を超えたために、セッションからログアウトされたときに発生します。ログインし直す必要があります。

3.3.31 SFTWDOWN-FAIL

ソフトウェア ダウンロード失敗 (SFTWDOWN-FAIL) 状態は、システムが必要なソフトウェアのダウンロードに失敗したときに発生します。

この失敗は、入力で指定された場所やファイルが正しくないか、ネットワーク問題、または不良な (破損した) パッケージが原因です。正しいファイル名または場所を指定して操作を再試行すると、通常は成功します。ネットワーク問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。パッケージが破損している場合は、弊社サポート担当に連絡してください。詳細は、「[テクニカルサポート](#)」(p.xxxv) を参照してください。

3.3.32 USER-LOCKOUT

ユーザ ロックアウト (USER-LOCKOUT) 状態は、ログインしようとして失敗したために、システムがアカウントをロックしたときに発生します。作業を進めるには、管理者がアカウントをロック解除するか、ロックアウト時間が経過する必要があります。

3.3.33 USER-LOGIN

ユーザのログイン (USER-LOGIN) 状態は、ユーザ ID とパスワードを確認することによって、新しいセッションを開始したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.34 USER-LOGOUT

ユーザのログアウト (USER-LOGOUT) 状態は、ユーザが自分のアカウントからログアウトすることによって、ログインセッションを中止したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.35 WKSWBK

現用への再切り替え (WKSWBK) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の現用ポート / カードにトラフィックが再切り替えされたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.36 WKSWPR

保護への切り替え (WKSWPR) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の保護ポート / カードにトラフィックが切り替えられたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.37 WRMRESTART

ウォーム リスタート (WRMRESTART) 状態は、電源投入時にノードが再起動したときに発生します。再起動は、データベースの復元や IP の変更などのプロビジョニング、またはソフトウェア障害などが原因で発生します。WRMRESTART は、通常、リセットが手動で開始されたか (MAN)、それとも自動的に開始されたか (AUTO) を示す MANRESET または AUTORESET と同時に発生します。

これは、TCC2/TCC2P カードへの電源投入後に最初に表示される状態です。TCC2/TCC2P カードが物理的な再装着や電源断から再起動された場合、状態は COLD-START に変わります。

3.3.38 WTR-SPAN

スパンが状態の復元を待機中 (WTR-SPAN) 状態は、Signal Failure-Span コマンドによって、または 4 ファイバ MS-SPRing 設定からファイバが引き抜かれたために、MS-SPRing が別のスパンに切り替えられたときに発生します。この状態は、WaitToRestore (WTR) 期間が経過するまで生成されます。

この一時的な状態は、MS-SPRing が正常状態または IDLE 状態に戻ると解除されます。